



忙しさの中の生活

「あなたがたは多くを望んだが、見よ、それは少なかった」
(ハガイ 1:9)

「人が全世界を手に入れても、自分を失ったり損失を被ったりしたら、何の益があるだろうか？」
(ルカ 9:25)

「時を贖(あがな)い取りなさい」
(エペソ 5:15)

人は多くの時、忙しさの中にある時、充実した人生であるように感じます。そしてふとその事実を振り返ると、誇らしげに感じると同時にその忙しさに見合うものを得ていないとも感じます。またある人は何のために忙しくしているのかと疑問を感じることでしょう。それは忙しさに振り回され自分自身を見失っているからです。

聖書は「時を贖い取りなさい」と告げています。これは何を意味するのでしょうか。これはある目的をもって「時間を買う取る」ことです。それはその時間を誰と共に過ごすかと関係します。このために多くの時間は必要ではありません。忙しさの中の数分という時を贖い、内側で「主イエスよ」と神の名を呼びます。その時、あなたの内側で主イエスをあなたの喜び、励まし、平安、忍耐、推進力として経験するでしょう。あなたの状況は依然として主イエスの名を呼ぶ前と同じ忙しさの中にあります。しかしその直面する事に対するあなたの内側の味わいが全く異なっているのです。あなたは忙しさの中で振り回されているのではなく、主イエスをあなたの今の必要として経験し、彼と共に生活をしているのです。